

## 第6回情報活動研究会 (INFOMATES) 開催報告

下記にて開催された第6回情報活動研究会の概要を報告する。

テーマ: 電子ジャーナルの最新事情: 機関リポジトリ・オープンアクセスについて

日時: 2008年3月12日(水) 18:30-20:30

場所: 科学技術振興機構 西日本支所

話題提供者: 科学技術振興機構 西日本支所 石井 静氏  
参加者数: 17名(運営委員含む)

主催: 情報活動研究会(後援: 情報科学技術協会; 科学技術振興機構 文献情報事業本部)

第2回研究会「無料データベースの活かし方」の続編として、またアンケートでも要望のあった「機関リポジトリ・オープンアクセス」をテーマに開催された。大学・高校の図書館や、企業の知財部門や情報部門に所属する参加者および運営委員により、充実した意見交換ができた。

恒例の自己紹介に続き、話題提供として、オープンアクセスの定義・オープンアクセスの分類・日本国内の機関リポジトリ・オープンアクセスで刊行されている雑誌の一例が紹介され、その後、参加者によるディスカッションを行った。

ディスカッションではまず「将来、オープンアクセスが進み、誰でも簡単に学術情報が入手できるようになった時に、図書館員・情報検索者は不要になってしまうのでは」という懸念が挙げられたが、いくら便利になったとしても、膨大な情報の中からエンドユーザが探し出せるものには限界があるため、だからこそ、いろいろなサイトを当たり探し当てるスキルを持つようなスタッフが求められるのではないかと、という意見が事例とともに交わされた。

また、オープンアクセスのサイトのリンク集などを作成・管理する立場として、「オープンアクセスは網羅性、メンテナンスが重要である」、検索する立場として、「機関リポジトリの横断検索ができるサイトがあると便利である。そういったサイトはないのか」といった意見が、知財の観点からは、「雑誌に発表されるよりも早く機関リポジトリに公開された場合、「いつ公知になったのか」ということで問題になるのでは」という懸念が挙げられ、今後、ますます増加するであろうオープンアクセスの動向について、注目していくべき点の認識が深まった。

次回は7月9日(水)を予定している。



### INFOMATES活動実績

	開催日	テーマ
第1回	2006.05.12(金)	<b>情報担当者と情報活動について語る</b> 講師: 稲葉洋子(国立民族学博物館) 南山和男(関西外国語大学) 吉野敏子(三菱ウェルファーマ)
第2回	2006.09.08(金)	<b>無料データベースの活かし方</b> 講師: 山下ユミ(国会図書館関西館) 斉藤隆行(科学技術振興機構)
第3回	2007.02.10(金)	<b>Web情報のかきこい使い方</b> 1. 「初心者向けGoogle機能説明・お気に入りデータベースの紹介」 話題提供: 高橋和子(日本生命) 2. 「基本的な行政情報サイトについて」 話題提供: 稲葉洋子(国立民族学博物館) 3. 「フィード(RSS/XML)を利用した情報収集・企業のIR(投資家向け)情報」 話題提供: 仲美津子(住商ファーマインターナショナル)
第4回A	2007.06.08(金)	<b>組織内での情報部門の存在価値をたかめる</b>
第4回B	2007.06.23(土)	<b>組織内での情報部門の存在価値をたかめる</b>
第5回A	2007.10.19(金)	<b>リファレンスのためのコミュニケーション術・インタビュースキルト</b> 話題提供: 羽田幸代(塩野義製薬)
第5回B	2007.10.24(水)	<b>リファレンスのためのコミュニケーション術・インタビュースキルト</b> 話題提供: 岡紀子(住化技術情報センター)
第6回	2008.03.18(火)	<b>電子ジャーナルの最新事情: 機関レポジトリ・オープンアクセスについて</b> 話題提供: 石井静(科学技術振興機構)

### 今後の予定

	開催日	テーマ
第7回	2008.07.16(水)	<b>情報担当者の育成</b> 話題提供: 中村文胤
第8回	2008.11.12(水)	<b>図書館や情報分野で働く人のキャリアアップ</b> 話題提供: 勝山麗